

やじうま議会ウォッチング

平成30年3月議会 「議員の任務、定数の適正は？」



今議会は、議員提出議案1件、町長提出議案31件審議。4名の予算総括質疑、9名の一般質問。議員提出議案で全会一致可決、4月1日施行の「二宮町子どもも大人も輝く心身きらり健康づくり条例」を例に、議員の任務、問題点を追及します。

住民の代表者である議員の任務

議員は、住民全体の代表者として議会を構成し、議会活動を通じて住民の個別意思を形成する任務があります。(※「議員必携」から転載)

そして、**条例が縛る対象は住民ではなく、行政、公務員**です。

例えば、使用料・手数料条例は、行政の徴収権利を当然と認めているのではなく、行政の裁量や逸脱がないように規定以外のもの、規定金額以外は徴収できないようにしているのです。

心身きらり条例の問題点

① 行政目線→住民に努力規定

住民に意見募集した**条例案**に

は、「町民の責務」「地域活動団体の責務」など住民を縛る規定が盛り込まれていました。

これに反対する住民意見もあり、「**責務**」という言葉を「**取組**」に修正しました。しかし、町民や地域団体に「**努力規定**」を課し、その本質は行政目線であることに変わりはありません。

住民目線であれば、町民、地域団体の取組の条文には、健康増進活動をする人や団体が動きやすくするために、行政や社会に対する「できる規定」や支援策を設ける必要があります。

また、条例案に規定されていた「町の責務」は、「まちの取組」に修正されています。

② 曖昧な規定で行政の裁量権拡大

条文が曖昧で何を政策として盛り込んでいるのかわからず、**行政裁量で住民の個人的生活に踏み込む危険性**さえも生じます。

この条例案の検討中に旧優生保護法の下での強制不妊手術への提

訴が報道されました。この条例が曲解され、不健康者への差別を生じさせない保証はありません。

③ 必然性のない理念条例

理念条例を何故わざわざ議会委員会提案で制定するのか、必然性はありません。また、**理念条例に財政措置規定を盛り込む矛盾**もありません。

二宮町の現状からすれば、抜本的な経費削減策、町民に負担を課さない財政増収策を真剣に検討することこそが必要なはずです。

適正な議員定数

議員本来の任務遂行に必要な知識、人権意識、実行力を持つ議員構成となるには、議員は何人必要か真剣に考える時期です。住民、議員自らも考え、行動してほしい。(18名を平成18年度に改定し現在14名)

私は、地域の健やかさに少しでも貢献できたらとまちづくり活動をし、その活動で生きがい、心身の健全性を保っています。各人それぞれの健康づくりがあり、それが尊重される町がいい。健康づくりの努力義務、団体活動に役割を一律に規定しないでほしい。この条例の内容や問題点は、「しお風」ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧いただき、条例に対する感想や意見を考えてください。



季節のごはん



今年の春は、いつにも増してあつという間に駆け抜けてゆきました。風薫る緑まぶしい季節。蛙が鳴き、ミミズが姿を見せ、蚕が桑をはむ。爽やかな中にも日本の蒸し暑さを連想させる季節でもあります。

食物も生命力にあふれています。タケノコやソラマメ、いかにも天を目指して伸びる様子に力をもらえますね。アサリもこの時季が美味しいので、新ごぼうと一緒にぜひ深川ごはんを。アサリを先にゆで、貝から身はずし、ゆで汁で炊くのがコツ(酒と薄口醤油で味を調べてください)。そのままでも、上から澄まし汁やみそ汁をかけても。

懐石べんとうでは蓋を開けた時の目に映る美しさも大切です。具材の色が濁らないように別に炊いて、ご飯が炊きあがる直前にパツといれたりしますが、お家ではおこげも含め文字通りませご飯を楽しんでください。



☎0463-71-4919
二宮町松根6-15
www.kyounoaji.com

| | 議員名(敬称省略) | 質問概要 | 傍聴コメント |
|-------------------|---|---|--|
| 予算総括質疑 3月6日(火) | 二宮 節子 (1期) 議会だより編集委員会副委員長 | 町長の思いが持続可能な自治体を求める町民意識と同等か? 1 施策の達成と満足度をどの様に評価し課題を今後の町政運営に反映するのか。新庁舎建設の進め方と今後の取組み。2 町長が考える町民総ぐるみについての見解。3 ICT 教育の充実、プログラミング教育に対する見解。4 子育て支援。5 再生可能エネルギー事業の進め方。オーブブランドの確立。 | いつも論点が整理され、活舌も明確で、質問はわかりやすい。要望ではなく、公約の達成度と合わせて厳しく追及してほしい。それに対して、町長答弁は聞きづらく、平成 30 年度の予算説明に過ぎず、見解がわかりにくいま。また、庁舎建設など急に「スピード感」を強調するのも疑問。 |
| | 添田 孝司 (2期) | 村田町政の姿勢 1 「財政ゼロからの見直し」の過去 3 年間の成果。2 任期中の町長退職金の廃止はどうなったか。3 公共施設再配置・町有地有効活用の中で役場庁舎と学校が検討除外になった理由。 | 質問は「しお風」でも追及してきた点も含めて、具体的な事例も明示し細部にわたり、厳しい追及がなされました。しかし、町長答弁は、見解の違い、住民ニーズの違いによる実行の困難さで逃げ切り、納得できるものではありませんでした。スピードと唐突は違います。最終的にどこまで回答を得るか再質問戦略も考え、町長、行政に問題意識を持たせる気迫を持って追及してほしい。 |
| | 渡辺 訓任 (1期) 議会運営委員会副委員長 議会だより編集委員会委員長 | 予算案と施政方針についての所見 1 生活保護を必要とする世帯数と補足率の把握、対象外、支援額が減った場合の対応。2 小児医療無料化の拡大、国民健康保険税の均等割の減額、保育所待機児の今年度の見通し、学校施設のエアコン設置。3 施設介護のニーズと対応認識。4 学校規模の適正化と地域コミュニティの醸成の位置づけ、統合、町民の合意の作り方。5 職員の「働き方」の方向性と具体的な目標。6 駅前町民会館の廃止後の活用とビジョン。7 庁舎移転の財源の確保と見通し。8 エネルギーの地産地消、自然エネルギーの活用の来年度の推進。9 任期中の退職金の廃止 | 介護制度の将来計画や町債・臨時財政対策債の推移などグラフボードを使い 9 点の幅広い質問をしました。町長答弁は原稿読みで、予算説明にすぎず、町長があえて答弁する内容ではありません。今市町村で判断して実施できることが多くなっている中でスピード感のある町長決断を迫ってほしい。また、町長任期終了が迫る中で退職金廃止の公約実現のために給与削減の提案もしたが、町長はそれをしないようです。 |
| | 前田憲一郎 (1期) 教育福祉常任委員会委員長 | 集中投資、メリハリのある予算編成が見えてこない。 1 中間評価と合わせた平成 30 年度の予算編成の検討方法 2 道路整備など必要な集中的投資はどこか。3 新事業の可能な展開方法。4 住んで安心、暮らしを楽しめるまちづくりを予算案のどこに反映。5 執行不用額の予算編成段階での問題点が平成 30 年事業にないか。 | いつも活舌も論点も明確で、質問はわかりやすい。今回は「メリハリのある予算編成」というのを射た質問でした。しかし、再質問で声は朗々としても内容は迫力がなく、行政が経験で今の予算編成が一番妥当であるという答弁に反論せず、納得したような形で終わってしまいました。 |
| 一般質問 3月8日(木) | 善波 宜雄 (1期) 総務建設経済常任委員会副委員長 | 災害に強いまちづくりについて問う 1 どのような計画推進 2 道路整備の早期の必要性。 3 災害時の地域拠点となる地域集会場児童館などについての検証。 | 災害に強いまちづくりを考えるには庁舎建設や駅前町民会館の廃止後、公共施設再配置の将来イメージをこの 10 年間で明確化することを繰り返し質問しましたが、結局答弁は実施計画のスケジュールで推進し不明確なままのようです。 |
| | 露木 佳代 (1期) 議会基本条例推進委員会委員長 | 消防署の人員配置と訓練について 1 町の安心安全をさらに向上させるための人員配置について 2 訓練活動について | 日誌を調査し救急出動があると消防人員が 2 名になってしまう日が 7 割強もあることを明らかにし元の 2 交代制、併用制にすることや訓練内容の充実を提案。データをビジュアルに示すなど工夫したが、今後検討という答弁で納得できません。 |
| | 野地 洋正 (1期) 総務建設経済常任委員会委員長 | 二宮町空家等対策計画の実効性について 1 計画策定に至った背景、必要性。2 総合計画、総合戦略における根拠、位置づけ。3 近隣自治体の計画との違い、独自性。4 周知、啓発、実行に係る各事業、予算。5 町民の負担、また期待すること。6 計画最終年度(平成 34 年度)の目標、効果。 | 空き家等対策について細部にわたり質問し、答弁では現段階で調査したデータの活用もなされず、二宮の地域性を活かした対策もこれから、空き家バンク登録も少なく、具体的な方向は見えないままに終了。計画の実効性は、疑問で、住民の安心、安全の視点も不明のままでした。 |
| | 一石 洋子 (1期) 教育福祉常任委員会副委員長 | 町民力を活かしたまちづくりに向けて 1 福祉分野で様々な世代が繋がり、多くの人に関わるしかけの必要性 2 二宮町のインクルーシブ教育の現状 3 地域の集会所と公園で放課後子ども教室を行うべき | 共生社会を実現するために具体的な事例も交えて詳細な質問でした。二宮の特徴として町民力の高さを町長をはじめ行政は強調しますが、現状把握もできておらず、そのしかけは速やかにできそうもありません。 |
| | 小笠原陶子 (5期) 副議長 | 認知症や障がいのある高齢者支援の充実について 1 認知症初期集中支援チームについて 2 介護施設の理解を深めることについて 3 地域での見守りについて 4 ボランティアの育成について IT サービスコーナー閉鎖に伴いデジタルデバインド解消について 解消対策 | 認知症や障害のある高齢者福祉は様々なことが実施されていますが、まだ点段階で、二宮町は何を重点に進んでいるのか不明。その時々でキャッチコピーは変わり、今年度予算のキャッチコピー「住んで安心、暮らしを楽しめるまちづくり」には程遠いようです。 |
| 質問しなかった議員 | 桑原英俊、杉崎俊雄、根岸ゆき子、柳川駅司(敬称省略・議長を除く・議席番号順) | | |



6月議会を楽しもう!

議会開催予定 6月1日(金)~6月8日(金)(会期 8日間)

しお風ブログ「議会ウォッチング」を発信。しお風ホームページ <http://shiokazecommunity.jimdo.com/> の「二宮を知りたい」の「二宮の課題」で「やじうま議会ウォッチング」のバックナンバーをご覧ください。

お問合せ まちづくり工房「しお風」神保智子 ☎090-3142-9358